

ドア錠
1

丁番
2

スライド
丁番
3

開き戸
金具
4

引戸錠
5

引戸
金具
6

上吊式
引戸金具

7

移動
間仕切
金具
8

折戸
金具
9

室内用
アルミ建具
10

取手・
引手
11

スライド
ワイヤー
バスケット
12

収納・
吊金具
13

その他
家具金物
14

物干金具・
諸金具
15

真鍮
アンティーク
16

設計
施工
ガイド

会社案内

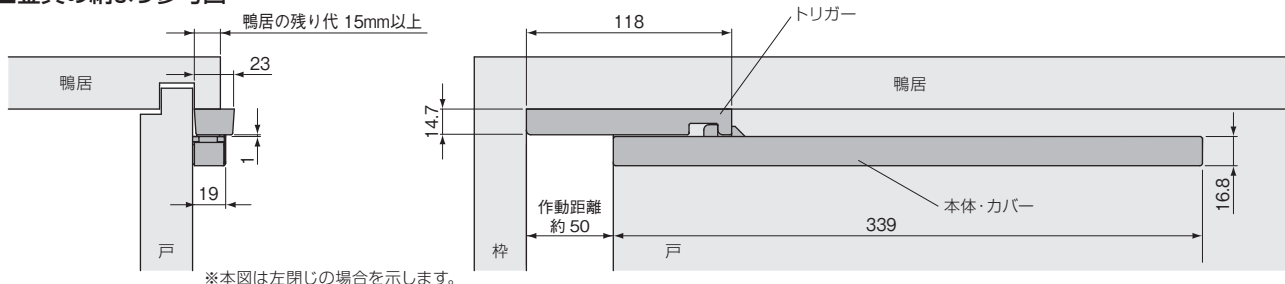
使用条件

一般住宅屋内用木製引戸(浴室には使用できません)

- ◇走行抵抗:6.9N(0.7kgf)以下 ◇引戸の総質量:30kg以下(引戸1枚) ◇鴨居の残り代:15mm以上 ◇使用温度範囲:5℃~40℃
- ◇戸車:ペアリング入りY型戸車(弊社推奨品:FA-1100-BY) ◇下部レール:Y型レール(弊社推奨品:NYレール)

設計ガイド

■金具の納まり参考図

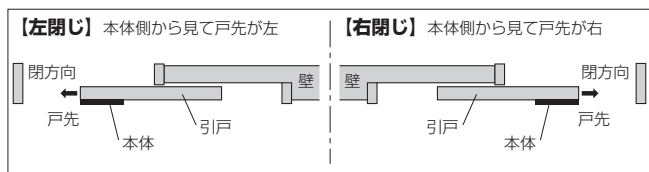


施工ガイド

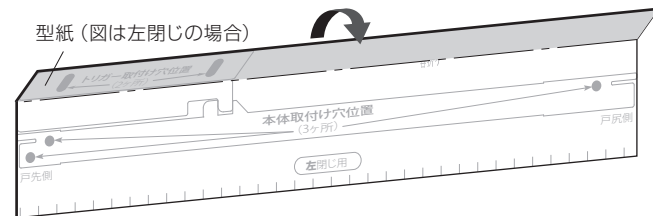
■金具の取付け方

1.型紙の用意

- ①下図を参考に、引戸の左右勝手をご確認ください。
※2本引違いで使用の際は、扉が重ならない側に取付けてください。

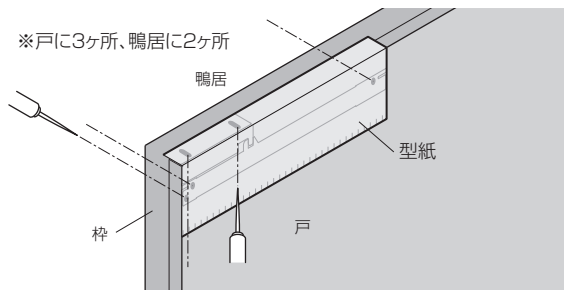


- ②使用する勝手にあった面を表にし、指定箇所を谷折りしてください。



2.取付下穴の位置出し

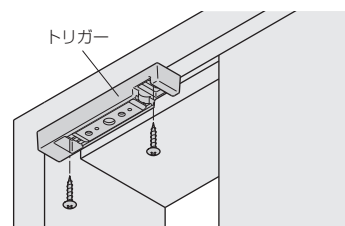
- ①戸を閉じた状態にします。
- ②用意した型紙を図のように枠と鴨居と戸に当てがい、型紙の取付け穴位置にキリなどで下穴をあけてください(図は左閉じの場合)。



※下から鴨居を見上げた図

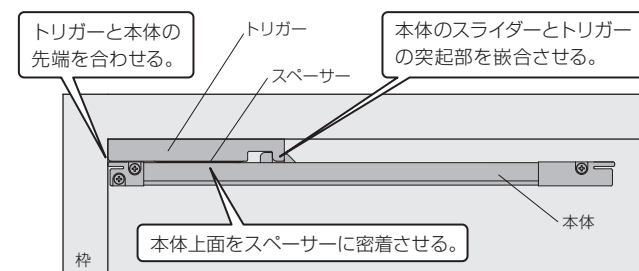
3.トリガーの取付け

- ①戸を開けた状態にします。
- ②鴨居の下穴位置にトリガーを右図の向きで取付けてください。

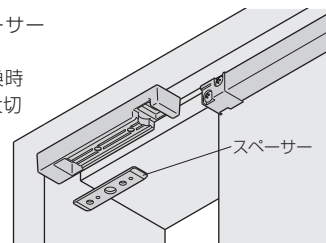


4.本体の取付け

- ①戸を閉じた状態にします。
- ②下図に示す条件を必ず守り、本体を取付けてください。

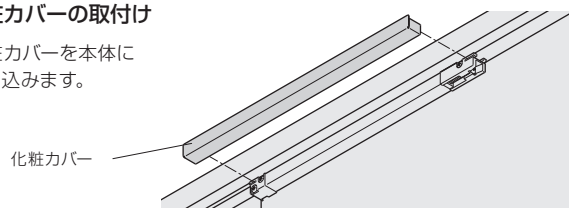


- ③戸を開けて、トリガーからスペーサーを外してください。
※スペーサーは、本体の部品交換時に必要になりますので、大切に保管してください。



5.化粧カバーの取付け

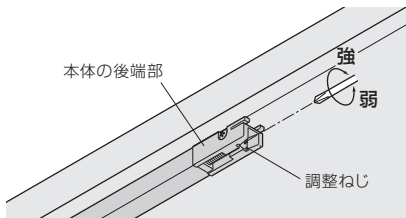
- ①化粧カバーを本体にはめ込みます。



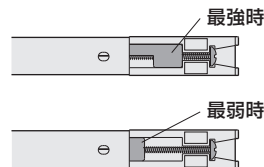
■引込み力の簡易調整

使用条件内の各項目を満たしていても戸が閉まりきらない場合は、本体の後端部にある調整ねじで引込み力の簡易調整ができます。
※製品出荷時は最弱設定です。

※戸が閉まりきらない場合の原因として、戸の走行抵抗が大きいのことが考えられますので、引戸の使用環境を確認してください。



本体を下から見た図



ご注意

調整範囲を超えてねじを回すと破損しますので、回しすぎないでください。